

試験区分：化学 教室系

Q . 仕事内容を教えてください。

A . 学生実験（化学）関連業務全般、および学科事務です。学生実験関連業務としては、学生実験の準備、器具・試薬の発注および管理、廃液・廃棄物の処理委託、学生実験の指導、レポート採点・成績管理、テキスト編集、学生実験担当スタッフとの連絡・打ち合わせ、スケジュール調整等を行います。

Q . 研究者との違いは何ですか。

A . 研究者は自分の研究テーマに沿って実験を行い、研究を進めていきますが、技術職員の仕事は学生実験関連業務ですので、化学実験の一番基礎的な部分を習得するための学生実験を運営する仕事になります。最新の研究テーマに関する実験を行うことはあまりありませんが、学生実験のテーマとして最新の研究テーマをうまく取り入れることができれば、学生に指導することも可能かもしれません。

Q . 取得しておいたほうがよい資格や知識はありますか。

A . 特に取得しなくてはならない資格はありませんが、大学の化学科で履修する化学全般に関する知識、実験手技は習得しておいた方が良いでしょう。

Q . 二次試験の内容はどのようなものでしたか。

A . 学科の所属のため、個人面接で学科所属の教授・准教授10名弱程度の面接官との面接でした。質問内容は一般的な企業面接と同様、志望動機、学生時代に行ったこと（課外活動も含めて）、自分の研究テーマについて等でした。

Q . どのような人材が求められていると思いますか。

A . 学生実験は学科の教職員スタッフ、学生TAとの共同の運営となりますので、中々難しいですが、何事にも臨機応変に対応でき、時には学生の視点に立つこともでき、新しいことにもチャレンジしていける人が望ましいかと思います。

Q . 研修制度について教えてください。

A . 毎年、全教室系技術職員を対象として、学生の卒業研究の指導補助や、実験・実習での指導・安全管理に役立てるよう、分野に拘らない学生レベルの実験・実習研修を実施しています。